

大沼枕山 おほぬまのまくら

漢詩人。文化十五年二月十九日江戸生れ、明治二十

四年十月一日歿（六八一九）。諱厚、字子壽、通稱捨吉、又藏。別號

下谷隱士、台嶺、東京老民、東京隱士、枕山史、枕山翁、枕山狂、枕

山老人、枕山老仙、枕山老民、水竹居、熙々堂、熙堂仙史、狂枕山等。

父は大沼竹溪。梁川屋巖の節事して玉池吟社に加入す。うち下谷吟社
を興す。

著書 『枕山詩鈔』全二冊（植村義校、安政六年孟秋・下谷吟社藏）、

『櫻文陰社詩』（内題「櫻吟社・第一集」批點、照譯如意、對句不識、明治

二十一年五月十七日誠信堂藏板）、『枕山先生遺稿』（嘉禰校、明治

二十六年十一月二十七日下谷吟社藏）、『枕山先生遺稿』（大沼鶴

林輯著、明治二十九年十一月一日芳流堂）等。

文獻、嵩古香著『古香一掬』（嚴師枕山老先生七秩初度）（明治二十

一年十一月春桂社藏）、永井荷風著『下谷叢話』（大正十五年二月一

十日春陽堂）等。